



ひよこだより

都立大塚ろう学校 乳幼児教育相談

平成31年3月5日 NO. 11

旅立ちの春～それぞれの道へ

今年度もとうとう最後の月になりました。ひよこ組の2歳児、ことり組の2歳児の皆さんは、乳幼児教育相談を修了し、それぞれの道に進みます。旅立ちの春ですね。ひよこ・ことり組に通ってくださった期間は、長い方で3年9か月から短い方で数か月とそれぞれですが、ひよこ・ことり組で過ごした時間や、お友達と一緒に遊んだ思い出を胸に、新しいステージへ大きく羽ばたいてください。



先日「ひよこ組おはなしの会」が行われました。2歳児の保護者の皆様に、お子さんが生まれてからひよこ組修了までを振り返って、お話ししていただきました。生まれてすぐのお気持ち、病院で聞こえについての診断を受けたときのこと、ひよこ組のお友達、保護者の方々、ろうの先生方や担当者との出会い、葛藤や成長などのエピソードがそれぞれのお子さんの姿と重なり、一つ一つの言葉に大変感慨深い気持ちになりました。

私たち担当者は、一週間に一回、または月に一回のグループや個別の時間に会うと、お子さんの成長に驚かされることもしばしばありました。懇談会などで頻りに話題にのぼったことの一つに、「子育ては『焦らない・比べない・諦めない』』という言葉がありました。その中でも『比べない』の部分に関しては「成長の仕方は誰一人として同じではない。」「お友達や兄弟姉妹などの他者とお子さんと比べるのではなく、もし比べるとするなら、過去のお子さんと同現在のお子さんを比べよう。」と、その都度、皆で話し合いましたね。そうは言っても、小さなお子さんと過ごす慌ただしい毎日、過去の我が子に思いを馳せたくとも、飛ぶように過ぎていく時間…これは、ひよこ・ことり組の保護者の皆様には共通のお気持ちではないでしょうか。

そんなとき、一役も二役もかってくれるのが「生活の記録」です。ひよこ組に通い始めてから修了するまで「生活の記録」を続けてくださったOちゃんのお母さん、8か月から3歳9か月までの様々なOちゃんの姿、御家族やOちゃんの成長を見守る方々とのエピソード、そして、お母さんの率直なお気持ちを長い間コツコツと綴っていただきました。その記録を拝読するたびに、今現在のOちゃんの成長にしっかりと焦点を当てて心から喜ぶと同時に、「次はこうしてみよう」と新たな工夫を考えてくださっているお母さんの思いに触れ、頭が下がりました。今回は、Oちゃんのお母さんに御了承いただき、そのたくさんの記録の中から、いくつかを御紹介します。

【0歳8か月】「インターフォン」

パパの帰宅予定時刻少し前に写真を見せると嬉しそうに笑う。手話と音声でパパが帰宅することを伝えるが、手話を見てくれない。インターフォンが鳴るが、反応したかは不明でキョロキョロはしていない。Oと一緒に出迎え。パパの写真とパパ本人とのマッチングを試みるが、パパの帰宅が嬉しくて写真には目もくれない。パパもOの反応が気になったらしく、今後もインターフォンを鳴らしてみようと話す。そして、お出かけ用以外にも、お家用の写真カードを作ろう！



【0歳11か月】「バイバイ」

てのひらを返ししながらバイバイした。若干キラキラのようにも見たが、0なりに真似して同じ動きをしたんだと思うと可愛くて、超ほめた。「0ちゃん、上手！バイバイ上手だったね！」と大げさに喜んだら、ドヤ顔でキラキラならぬバイバイをした。動きだけでなくシチュエーション(どういうときに使うか)も覚えてほしいのは欲目だろうか。



【1歳4か月】「公園のハト」

(前文略)ハトを追いかけて遊んだ。追いかけている姿はとても可愛くて見ていて飽きなかった。また、ハトが飛ぶと大はしゃぎで両手を大きく振っていた。「ハト飛んだね〜。」と話しかけると、「アッ！アッ！（ハト！ハト！）」と言いながら、羽ばたく様子のサインをしたり、指文字らしきハトをしたりと興奮していた。また、「ほら、0ちゃん見てごらん、ハト何か食べているよ。」と言うと、0も「食べる」のサインをした。話を通じて、同じ風景を共有できた実感があり、感慨深かった。

【1歳10か月】「グループ活動と懇談会」

(前文略)できないことばかりに着目してしまうとキリがないので、気にしない、気にしない…。少しでも興味を引けるように、丁寧に説明をしたり、引き続きアイアイ(ダンス)を家でもやってみたりしよう。(中文略)グループ活動後半の懇談会はとても貴重な時間だ。他のママさんの工夫や努力を聞き、真似してみようと思ったり、自分も頑張ろうという気持ちになったりする。無理のない範囲内で、用意できるものは用意し、体験させてあげられるものは見守りながら体験させ、0の意志を尊重しながら、一時一時を丁寧に過ごしていくことが大切だ。分かっているつもりでも、すぐに忘れてしまうため、その都度初心に戻れるこの時間は本当にありがたい。

【2歳0か月】「先輩」

1学年上のT君親子と一緒にお昼を食べた。T君のママさんの接し方はとても勉強になる。きちんと親子でコミュニケーションが取れていて、さらに、T君はママ以外の人ともきちんとコミュニケーションが取れることに驚いた。0に名前をたずねる様子や、「分かる」ということと、「分からない」ということを理解している様子にコミュニケーション能力の差をとても感じた。比べるわけではないが、0の「分かった」は100%の「分かった(理解)」ではなく、挨拶のような「分かった」なんだな〜と思った。だいぶコミュニケーションがとれるようになってきたと思ったが、さらに中身が伴ってくるとT君のようになるんだと、成長モデルを見ることができ、より楽しみになった。

★ ★ ★ ★ ★ ↓ …ちょうど一年後… ★ ★ ★ ★ ★

【3歳0か月】「検査」

(前文略)検査が終わった後、先生から「できることは、きちんと自信をもって取り組める子で、さらに、自分のできない・分からないことを理解し、認め、『できない』『分からない』と伝えられることがとても素晴らしい。」と褒めてもらった。(中文略)0はきっと頑張り屋さんで、多くを求めすぎる私に何とか応えようと背伸びをし、私は背伸びをした0ばかり見ていたのかもしれない。できても、できていなくても大切な子に変わりはないが、やはりできるに越したことはないグイグイ引っ張ってしまう自分がいるんだろう。色眼鏡をかけずに今のリアルな0を見られるようにならなければと、0の成長と自分の反省点も見えた日だった。

【3歳1か月】「子育て広場」

今日、子育て広場で会ったママさんに「ちゃんと目を見て子供と会話して偉い。」と言われた。そのママさんは三人の子供をもつ先輩ママ。「三人もいたらなかなか大変ですよね！」と言うと、「一人のときもできていたかどうか…？子供からの言葉を待たずガミガミ言うだけでここまで来たかも。」と言っていた。親子の性格や環境の違いもあるし、一概には言えないが、私もろう学校に通わなかったら、そうになっていた気がしてならない。子育て論において何がベストかはわからないし、正解も不正解もないかもしれないが、私は一方的ではなく、コミュニケーションをとりながら一緒に育っていききたいと思うため、私は母になってから、娘とろう学校に導かれた気がする。

【3歳4か月】「心の成長」

グループ活動での懇談中(子供たちはボランティアさんと自由遊びの時間)、泣き出してしまったお友達に寄り添って、肩に手をあてながら優しくなだめてあげていたらしく、その様子を見ていた先生に「すごいね！ちゃんと心が育ってる！」と言ってもらった。私はつい「野次馬～」とか「お姉さんぶって～」とかマイナスな言葉をチョイスしてしまうため、先生からの言葉はとても嬉しく、同時に自分に対する良い気付きにもなった。(中文略)温かく優しい心が育っていて、その気持ちを素直に表現している。その姿を私も素直に受け止め、そのまま伸ばしてあげたいと心底思った。そして子供の姿は私が見ているものが全てではない。だからこそ第三者の目が入る機会も貴重で、その時のお話はとてもありがたいと、強く感じた。



どれを紹介させていただくかとても迷ってしまうくらい、愛情たっぷりの言葉で記された O ちゃんの「生活の記録」、お母さんにとってはもちろん、O ちゃんにとっても、宝物になりますね。また、記録には、O ちゃんの成長と共に、お母さん御自身のお気持ちやお考えの変化も、随所に散りばめられていました。それらのかけがえのない瞬間に、少しでも乳幼児教育相談が関わっていたとしたら、これほど嬉しいことはありません。また、ひよこ・ことり組の一人一人のお子さんと、乳幼児期という大切な時期に出会うことができ、保護者の皆様とお子さんの成長を喜び合って一緒に歩めたことが、私たち担当者の喜びでした。

改めて、ひよこ・ことり組を修了する皆さん、修了おめでとうございます。笑顔あふれる親子の関わりを、これからも大切にしてくださいね。

そして、4月から、ひよこ組0・1歳児の皆さんは一つ上のグループに、ことり組3・4歳児の皆さんは園でも一つ上のクラスに進級しますね。新年度もたくさんの楽しい経験を、親子でしていきましょうね。

一年間、本当にありがとうございました。

(文責:神谷)

